PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

57-184303

(43) Date of publication of application: 13.11.1982

(51)Int.Cl.

H01Q 1/32 // H01Q 3/26

(21)Application number: 56-069914 (71)Applicant: SUMITOMO ELECTRIC

IND LTD

(22) Date of filing:

09.05.1981 (72)Inventor: YOSHIDA KENICHI

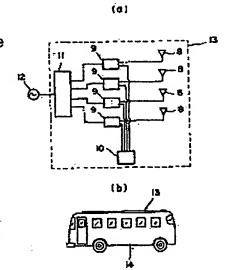
IKEDA JUNICHI

(54) PHASED ARRAY ANTENNA FOR TRAVELLING OBJECT

(57) Abstract:

PURPOSE: To decrease the air resistance while a travelling object is travelling and at the same time to eliminate the mechanism to control both the angle of elevation and the azimuth angle, by setting a phased array antenna on the roof of the travelling object in nearly a horizontal position and carrying out the phase control for the beam scan of a radiator.

CONSTITUTION: A phased array antenna 13 containing radiator elements 8 arrayed on a plane is set on the roof of a travelling object



14 in nearly a horizontal position. A phase unit 9 is connected to each element 8. A beam direction controller 10 which controls the quantity of transmitted phase of the unit 9 is connected to the unit 9 along with an electric power distributor/synthesizer 11 that distributes the electric power supplied from a feed source 12 and at the same time synthesize the received electric power in the reception mode. Thus the phase relation of the radiator 8 is controlled by controlling the quantity of transmitted phase of the unit 9

Searching PAJ Selie 2 voli 2

through the controller 10. As a result, the beam direction is controlled for the antenna.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(9 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

砂公開特許公報(A)

昭57—184303

①Int. Cl.³H 01 Q 1/32//H 01 Q 3/26

識別記号

庁内整理番号 7125-5 J 7827-5 J 砂公開 昭和57年(1982)11月13日

発明の数 . 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

②特 願 昭56-69914

移田

願 昭56(1981)5月9日

@発 明 者. 吉田健一

大阪市此花区島屋1丁目1番3 号住友電気工業株式会社大阪製 作所内 @発 明 者 池田純一

大阪市此花区島屋1丁目1番3 号住友電気工業株式会社大阪製 作所内

切出 願 人 住友電気工業株式会社

大阪市東区北浜 5 丁目15番地

個代 理 人 弁理士 光石士郎 外1名

明 組 書

1. 発明の名称

移動体徴軟用フエイズドアレイアンテナ

2. 特許請求の範囲

移動体に機能されるアンテナにおいて、夫々の 放射器が同一平面上に配列されると共に放放射器 のビーム定査を位相制物により行なりフェイズド アレイアンテナを上記移動体上に略水平に設置し たことを特徴とする移動体接載用フェイズドアレ イアンテナ。

3. 発明の静細な説明

本発明は高速で走行する移動体に機能されて航空機や新星等との通信に用いられる移動体機能用 フェイメドアレイアンテナに関する。

車輌等の移動体上にアンテナを設置して航空機や希温等からの電波を受信する場合など、電波の 周波数帯域がエペンド(8~12 GHs)や Roパ ンド(12~18 GHs)の高周波帯域が用いられているため、アンテナとしてパラボラアンテナが 一般に用いられていた。 しかしながら、移動体上に設置されたペラポラ アンテナの間口面を電波到来方向に正対させて進 信しながら移動体を高速で移動すると、ペラポラ アンテナが立体的構造であるため、空気抵抗が大 きくなり、高速移動そのものが顕落される。さら に、ペラポラアンテナを分解可能な構造にして移 動体内部に設置することも考えられるが、この場 合アンテナ組立に時間を要すると共に走行中の通 信は困難となる。

また、同一平面上に放射器を配置して構成される平面アンテナ、例えば、側面に多数のスロットを有する導放管を配列した導放管形スロットアレイアンテナヤ、第1図に示すように時間体務収1上に配列された放射器4にストリップ線路3で接続して船間するストリップ線路アンテナ5、シよび第2図(A)(A)に示すように振地導体2に設けられるストリップ線路3とを銀合わせたストリップ線路3にを銀合わせたストリップ線路3にを銀合力を表に投続して通信する方法がある。これらの平面アンテ

ナはアンテナの放射器エレメント4,6の配列に よつて相互の位相関係を遵切に過択できるため、 アンテナのピーム方向を任意の方向に設定できる。 したがつて、草類等の移動体上に水平岩しくは僅 かに傾斜させて設置するととにより、ペラポラブ ンテナド比較して車輛走行時の空気抵抗を極力小 さくできる利点がある。

ととろが、上配平面アンテナにかいては一度各 放射器エレメントの位相関係を設定するとアンテ ナのピーム方向が快定されてしまりため、通信時 にはアンテナ自体を動かす仰角調整機構および方 位角開整機構が必要となる。そのため享観の重量 を増加させ、さらに機構部の駆動装置の保守等が よび取扱いが必要であつた。

本発明は上記従来技術に備みてなされたもので、 アンテナを模載する移動体を高速で走行させなが ら通信する瞬に空気抵抗を振めて小さくできると 共に仰角かよび方位角の調整機構を不摂とした谷 「動体積用フェイズドアレイアンテナを提供すると とを目的とする。かかる目的を達成するための本

/ 合成器11と、との電力分配/合成器11に接 銃された給電源12とで構成されている。さらに、 このようなフェイズドアレイアンテナリるが放射 巻8のピーム方向を上方に向け第3回(4)に示すよ **りに車御14のルーフ上面に水平に街着して設け** られたものできる。

とのようセフエイメドアレイアンテナ13化4 いてはピーム方向制勢コントローラ10化よつて 央々の位相母9の透過位相量を制御し、放射器8 の位相関係を制御することにより、アンテナのビ 一人方向を任意に飼整できるため、空気抵抗を復 めて小さくした状態で車幅地行中に航空機等にア ンテナピームを向けるととができる。さらに上記 ピーム方向制御コントローラ10氏追跡機能を持 たせることにより自動的にピームコントロールが できるため、車輌の高速地行が可能となる。

尚、ストリップ酸路アンテナるヤストリップ継 路スロットアレイプンテナで等の平面アンテナを 用いる場合、移動体例えば、車舗14のルーフ金 異面を平面アンテナの扱地導体1として兼用し車

発明の構成は、容動体に複載されるアレイアング

持開昭57-184303 (2)

ナドシいて、夬々の放射器が同一平面上に配列さ れると共に政放射器のビーム定変を位相制部によ り行たうフェイズドアレイアンテナを上記移動体 上に略水平に設置したことを停留とする。

以下に本意味の一実施例を設置に基づいて説明 ナる。尚、本実施例にかいては第1回かよび第2 図(a)(b)に示すストリップ練路アンテナ或いはスト リップ静略スロットアレイアンテナ特の平面アン・ テナを用い、位相詞句により放射器のピーム走査 をするフェイズドアレイアンテナの場合について 説明する。

フエイズドアレイアンテナ13は夫々の放射器 エレメント8が平面状に配列されており、第3囟 (s)に示すように、上配各放射なTD/メント8に失々 袋続された位相替りと、これら位相等りに接続し て各位相器3の透過位相量を制御するビーム方向 飼御コントローラも 0 と、さらに上紀夫々の位相 路・3 に接続して送信時に給電視12から電力を分 配する一方受信時に受信電力を合成する電力分配

贈14と一体に放けるとともできる。また、上記 実施例においてはストリップ線路アンテナラシよ びストリップ線路スロットアレイアンテナでを用 いた場合について説明したが、これに扱らす、他 の放射器エレメジトを用いた平面アンテナでフェ イズドアレイアンテナを構成してもよい。

以上、具体例を挙げて説明したように、本発明 によれば、同一平面上に放射器エレメントが配列 されたフエイズドアレイアンテナを移動体上に略 水平に設置したことにより、移動体走行時の空気 抵抗を確めて小さくすることができるため、高速 走行中でも確実に通信可能となる。 さらに、ヒー **人定査を位相制例により行むりため、仰角および** 方位角調整機構が不要となり、移動体の重量を軽 くするととができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はストリップ維格アンテナの斜視図、第 2 図(4)はストリップ舗路スロットアレイアンテナ の斜視図、第2図回は第2図回中の▲矢視図、第 3四(4)はフェイメドアレイアンテナのプロック図、

特開昭57-184303 (3)

第3図(n) は車輌上に後載されたフェイズドアレイ アンテナを示す板時間である。

四面中、

8は放射器エレメント、

8 は位相容、

10はピーム方向制御コントローラ、

11世世力分配/合政器、

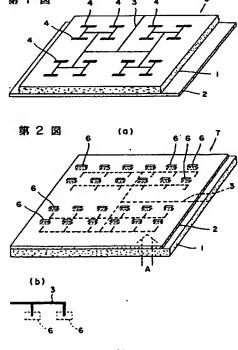
12は給電源、

13はフェイメドアヤイアンテナ

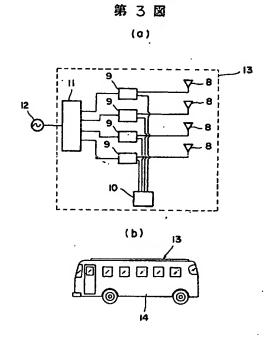
14は草笥である。

停 許 出 顧 人 - 住友電気工業株式会社

代理人 弁理士 光 石 士 郎(他)名)



排開昭57-184303 (4)



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.